鉄道コレクション対応　点灯化キット　西鉄6050形対応

NT−6000_ml　ライトユニット　説明書

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。

本キットは、以下の車種に対応します。
・西鉄6050形

本キットは、トレーラー車専用です。
動力ユニット付き車に使用すると、チラツキ対策を施していないため、前進時にテールライトが、後進時にヘッドライトが、チラチラと点灯してしまいます。

⚠ ご注意

・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
・車両は必ず直流（DC）12V以下で運転してください。交流（AC）は絶対に使用しないでください。
・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】

・ライトユニット	:	1個/セット
・レンズ覆い（ケガキ済みの黒プラ板）	:	1枚/セット
・通過標識灯ユニット	:	1個/セット

【その他】

・説明書（本紙）	:	1枚
・導電性アルミテープ（15mm × 約120mm）	:	3枚/箱

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

・カッティングマット	・カッターナイフ（デザインナイフが望ましい）	・直定規
・ピンセット	・楊枝，綿棒など	・塗装面を保護する柔らかい布
・ニッパ	・ピンバイス（0.3mm, 0.5mm, 0.8mm, 1.0mm）	・ポンチ（プッシュピンなどでも可）
~~・プラスドライバー~~	~~・精密ヤスリ（平、丸、半丸など）~~	~~・サンドペーパー~~
・両面テープ	・ゴム系接着剤	~~・マスキングテープ~~
~~・木工ボンド~~	~~・プラモデル用接着剤~~	~~・瞬間接着剤~~
~~・ポリエステルテープ（ニチバン「マイラップ」，セメダイン「ラピー」など）~~		・遮光用の塗料（黒または銀）

●取り付け手順

※網かけの項目は、通過標識灯付きの場合に必要な項目です。

1. 分解する

1−1　床板を外す

車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。

1−2　側窓を外す

側窓を外します。前面透明パーツとの噛み合部をコジって外します。
妻面の窓が外れますので、紛失しないように注意します。

1−3　前面透明パーツを外す

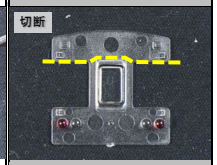
前面透明パーツは、ボディとの隙間を精密ドライバーなどでコジって外します。
前面窓は外しません。

1−4　ライトベゼルを外す

ライトベゼルを、前面透明パーツとの隙間を精密ドライバーなどでコジって外します。

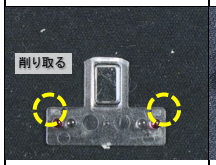
2. 車体を加工する

2−1　前面透明パーツの加工



前面透明パーツを、貫通扉窓を避けて凸形に切断します。通過標識灯レンズは使用しないので保管します。

（2−1つづき）

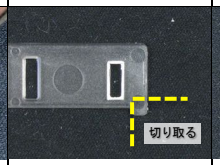


裏面のテールライト上の突起を削り取ります。

2−2　ライトレンズ周辺の遮光

ライトレンズ周辺の表側と断面、及びライトレンズの軸の側面を、銀の塗料で遮光します。（暗くなってしまうので黒は不可です。）

2−3　側窓を加工する

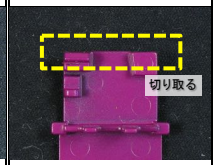


側窓前端下部の突起を、乗務員扉窓の下端の高さまで、切り取ります。

2−4　スカートを加工する

スカートの両サイドの固定用のツメのうち、前半分を切り取ります。

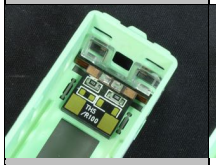
3. 床板を加工する



シート前端、運転台の突起より前の部分、（約2mm）をカットします。
（助士席側の突起は後ろ側が少し残ります。）

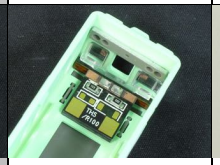
4. ライトユニットを取り付ける

4−1　通過標識灯ユニットの取付



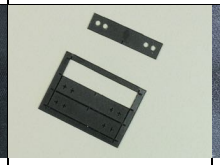
通過標識灯ユニットをはめ、両面テープで固定します。

4−2　ライトベゼルを取り付ける



ライトベゼルをはめ、両面テープで固定します。

4−3　ライトユニットを取り付ける



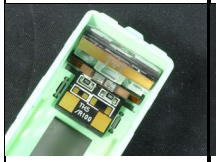
レンズ覆いの十字の中心にポンチで印を付けます。0.5mmのピンバイスで穴をあけ、1.0mmまで徐々に広げます。ケガキ線に沿って切り離します。

前面透明パーツの裏側に、レンズ覆いを、両面テープで貼ります。密着させるために、レンズ部分に両面テープを貼ります。レンズの中心が合っていることを確認します。

ライトユニットを両面テープで取り付けます。△印が上側です。

5. 配線する

（4−3つづき）



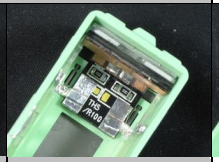
前面透明パーツをはめ、両面テープで固定します。

5−1　側窓をはめる

まず妻面の窓をはめます。
次いで側窓をはめます。前側は固定できなくなっているので、両面テープ片で固定します。

5−2　通過標識灯へ配線する

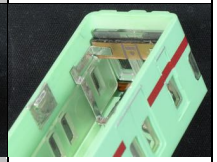
1.5mm × 約30mmのアルミテープを使って、通過標識灯の給電パッドから側窓下まで配線します。
余ったテープは切り捨てます。
※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。



通過標識灯の給電パッドの通電の確実を期して、3mm × 6mmのアルミテープを重ね貼りします。

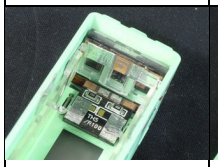
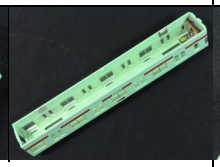
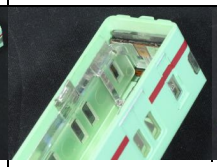
※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

5−3　ライトへ配線する

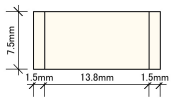
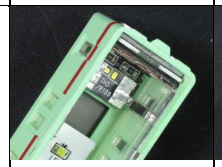


1.5mm × 9mmのアルミテープで、側窓下部からライトの給電パッドまで配線します。

※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。

（5-3つづき）	5−4 側窓下の凸部にアルミテープを貼る	5−5 側窓下をアルミテープで結ぶ
		
ライトの給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm × 5mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	床板との嵌合部の凸部に、5mm × 5mmのアルミテープを貼ります。テープの先端が車体裾に接するように貼ります。 車体の四隅の嵌合部に貼ります。	室内灯も取付ける場合は、この作業は室内灯の取付後に行ないます。 3mm × 113mmのアルミテープを使って、側窓下端に沿って、ライトユニットへの配線、前の嵌合部、後の嵌合部を接続するように貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

●乗務員室仕切りを取付ける（室内灯を取り付ける場合にお好みで）

0. パーツを作る	1 桟を取り付ける	2 仕切りを取り付ける
乗務員室仕切り 型紙  		
0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 （遮光に適した黒いプラ板を分売しています）	乗務員室仕切りの桟を、乗務員室扉後部の壁の前端に、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、後側の切口までL字形に貼っておきます。	乗務員室仕切りを、桟の後側に設置します。

補修用にアルミテープ等を分売しています。
ism-works.shop-pro.jp をご覧ください。

《お問い合わせ先》
イズムワークス・直売所
〒249-0002 神奈川県逗子市山の根1-5-15, 店舗営業はしていません。
phone：0468-27-7261, 10:00～18:00 土日祝休業, e-mail：shop@ism-works.shop-pro.jp.
ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp